

23	ダイオキシン分解 99.9%超 シェルジャパンが新触媒システム 多層構造で低温活性優れる	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 268(1998.8)
24	光触媒でダイオキシン分解 KASTが研究着手 産学官で装置開発目指す	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 310(1998.9)
25	水中のダイオキシン 紫外線を使い分解 クボタ	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 83(1998.10)
26	ダイオキシン汚染 分解処理で指針	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 158(1998.11)
27	分解技術 実用化へ 土壌汚染ダイオキシン 微生物の利用も 環境庁	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 93(1998.12)
28	ダイオキシンの 99.7%分解 超臨界水利用し新処理法 通産省工業技術院	GREEN REPORT, 102(1997.6)
29	ダイオキシン分解する菌発見 愛媛大教授ら	GREEN REPORT, 100(1998.2)
30	ダイオキシン キノコが分解 「白色腐朽菌」が効果 九大と県保健環境が確認	GREEN REPORT, 97(1998.6)
31	焼却炉発生のダイオキシン 電気分解に成功 盛岡大	GREEN REPORT, 101(1998.8)
32	ダイオキシン対策にEM菌 90%の抑制を確認	GREEN REPORT, 101(1998.9)
33	ダイオキシンなど有害物質 光触媒で分解処理 キンダイバイオ研 工技院と装置開発	GREEN REPORT, 48(1998.10)
34	土壌汚染ダイオキシン 分解技術 実用化へ 微生物の利用も 環境庁	GREEN REPORT, 25(1999.1)
35	キノコの酵素で環境ホルモン分解 3日間で 90%以上 環境浄化技術に応用へ 新潟大	GREEN REPORT, 101(1999.2)
36	ブナシメジ栽培後の菌床 ダイオキシン分解5ヶ月で5-6割 広島県立大学森永教授らが確認	中国新聞(1999.7.19)

表9-3 (2) 文献リスト (マスメディアによる情報)

[物質の特性] ② 水・大気・土壌(底質)分配比

No.	記事名	文献
1	諏訪湖 泥に環境ホルモン 環境庁調査	GREEN REPORT, 9(1998.5)
2	大気中から環境ホルモン 都が初調査【東京都】	GREEN REPORT, 114(1999.7)

表9-3 (3) 文献リスト (マスメディアによる情報)

[物質の特性] ③ 拡散性

No.	記事名	文献
1	環境ホルモン水質調査 ノニルフェノール汚染 もっとも広範囲76%に 環境庁が全国130地点で	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 178(1998.12)
2	コメの汚染調査へ 原告団明らかに 城取清掃工場周辺ダイオキシン問題	GREEN REPORT, 18(1998.11)
3	神奈川県などに対象地域を拡大 母乳ダイオキシン調査 厚生省	GREEN REPORT, 31(1998.11)
4	河川・海のダイオキシン 流れ込む農薬含有 水田土壌対策を急ぐ時	GREEN REPORT, 108-109(1998.12)
5	環境ホルモン 脳や胎児へも流入 マウス実験で初確認 横浜市大	GREEN REPORT, 8(1999.1)
6	玄米中のダイオキシン もみ殻から移行か	GREEN REPORT, 109(1999.1)
7	10地点から4物質検出 県、環境ホルモン調査結果を発表 対象全河川、大気からも	GREEN REPORT, 112-113(1999.1)
8	環境ホルモンの実態 県内5河川など調査 建設省中部地方建設局【静岡県】	GREEN REPORT, 33(1999.9)

表9-3(4) 文献リスト(マスメディアによる情報)

[物質の特性] ④ 生物蓄積性

No.	記事名	文献
1	資料 平成9年度埼玉県環境大気中及び母乳中のダイオキシン類調査結果(埼玉県)	月刊廃棄物, 42(1998.10)
2	1日摂取量 5pg/kg ダイオキシン 環境庁が目安	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 19(1997.1)
3	排ガスで精子数減少 ディーゼル車 窒素酸化物影響か 都立衛生研	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 208(1998.12)
4	人の卵巣からダイオキシン 東大医学部と国立環境研 生殖器官 初の検出	GREEN REPORT, 110(1998.12)
5	環境ホルモン検出 イヌワシの卵、ひなから 高い蓄積度、次世代移行を確認	GREEN REPORT, 92(1999.2)
6	最高値のダイオキシン検出 ごみ焼却元従業員調査 通常人の27-40倍 大阪・能勢町	静岡新聞, 1999.3.27
7	ダイオキシン 蓄積の傾向か 子宮内膜症患者で調査	GREEN REPORT, 98(1999.5)
8	ダイオキシンなど環境ホルモン 食品食べて体外へ 食物繊維+大豆製品 排出に最も効果的	GREEN REPORT, 100-101(1999.5)
9	水鳥にコブラナPCB濃縮 東京湾の魚の1万6000倍 愛媛大調査	GREEN REPORT, 111(1999.8)
10	アカイカからダイオキシン 太平洋で汚染拡大	GREEN REPORT, 112(1999.8)
11	魚介類コブラナーPCB ダイオキシンの3倍 厚生省調査	GREEN REPORT, 114(1999.11)

表9-3(5) 文献リスト(マスメディアによる情報)

[物質の毒性] ① 毒性の種類

No.	記事名	文献
1	内分泌かく乱化学物質への環境庁の対応方針について	月刊廃棄物, 10(1998.10)
2	内分泌かく乱化学物質関連年表	月刊廃棄物, 22(1998.10)
3	ダイオキシンのリスク評価 (環境庁・検討会中間報告から)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 142(1997.2)
4	ホルモン様化学物質研究 生殖影響を探る (国環研が3年計画)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 248(1997.2)
5	ダイオキシン「発がん性ある」 国際機関、評価見直し	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 128(1997.3)
6	ダイオキシンに発がん性は”ある” IARCが評価見直し 厚生、環境庁 検討会に反映も	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 146(1997.3)
7	雄の生殖機能に影響大 オクチルフェノール暴露 米でマウス実験	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 341(1997.3)
8	脅かされる生殖機能 ホルモン様化学物質を追う 3 困惑する産業界	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 132(1997.4)
9	脅かされる生殖機能 ホルモン様化学物質を追う 4 動き出した国際機関	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 213(1997.4)
10	脅かされる生殖機能 ホルモン様化学物質を追う 5 対照的な欧米と日本の行政対応	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 307(1997.4)
11	脅かされる生殖機能 ホルモン様化学物質を追う 6 求められる市民の自己防衛	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 32(1997.5)
12	エンドクリン問題 重大な毒性影響ない 今後も継続研究を	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 8(1997.6)
13	ダイオキシンや塩素系殺虫剤 生殖への影響調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 74(1997.7)
14	「外因性内分泌かく乱化学物質問題に関する研究班中間報告」の概要<上>	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 178(1997.8)
15	「環境ホルモン」の恐怖 生体を巧みにだます化学物質	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 343(1997.10)
16	ビルは環境ホルモンか 天然ホルモンの100倍の作用 (英国環境庁)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 300(1998.2)
17	環境ホルモンの毒性レベル予測 (昭和薬大グループと富士通)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 19(1998.3)
18	PS エストロゲン性なし スチレン工業会 蘭研究機関通じ確認	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 102(1998.7)
19	コブラナーPCB 環境庁が規制対象に ダイオキシン並みの毒性	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 457(1998.7)
20	成長後も悪影響 環境ホルモン 生殖機能が低下 国立環境研など	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 156(1998.12)

21	環境ホルモンに挑む 研究、新局面に(PERT3) 3 生体影響で情報不足 深まる化学業界との対立	GREEN REPORT, 6-7(1999.1)
22	環境ホルモン国際シンポ 低濃度でも毒性 市民向けプログラム	GREEN REPORT, 8-9(1999.1)
23	ダイオキシン耐用摂取量見直し コプラナPCBも対象 厚生省・環境庁審議会が合意	GREEN REPORT, 28(1999.5)
24	ダイオキシン 「生殖機能にも影響」 マイヤーズ博士所沢視察	GREEN REPORT, 61(1999.5)
25	環境ホルモン 乳幼児のおもちゃから検出	GREEN REPORT, 109(1999.5)
26	環境ホルモン投与→発がん発生率上昇 鹿児島大, ラットで確認	GREEN REPORT, 99(1999.6)
27	ディーゼル排ガス吸うと精子減る? 環境ホルモン作用を確認 青森県立保健大チーム	GREEN REPORT, 113(1999.8)

表9-3 (6) 文献リスト (マスメディアによる情報)

[物質の毒性] ② 毒性の対象

No.	記 事 名	文 献
1	ダイオキシンが人体に入るとどうなるか~子宮内膜症、精子数の減少、母乳中のダイオキシン濃度、神経障害との関係について~	月刊廃棄物, 5(1998.10)
2	ダイオキシンで指針値 健康リスク評価 環境庁検討会が報告	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 262(1997.1)
3	各国におけるダイオキシン類摂取基準 (環境庁検討会報告から)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 342(1997.1)
4	エンドクリン問題 人への影響調査を (環境庁研究班)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 44(1997.8)
5	人の健康影響調査を 環境庁がホルモン様化学物質問題で中間報告	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 186(1997.8)
6	内分泌かく乱化学物質 厚生も研究班 ヒトへの影響調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 394(1997.10)
7	ダイオキシンの影響 精液つくる器官が縮小	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 90(1997.11)
8	環境ホルモン講演会 川魚の精子が減少	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 200(1997.12)
9	ワニのふ化率減らす 環境ホルモン	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 355(1997.12)
10	止められるか環境ホルモンの人体汚染	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 142(1998.1)
11	野生生物は警告する 環境ホルモン汚染	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 149(1998.1)
12	生殖異常招く化学物質検出	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 163(1998.1)
13	ダイオキシン 海や河川も汚染拡大 環境庁調査 魚の一部で高濃度	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 164(1998.1)
14	環境ホルモン メダカ(米産)で監視	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 9(1998.2)
15	環境庁 ダイオキシンとエンドクリン問題 人、生物の汚染調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 133(1998.2)
16	カエルの奇形と微量化学物質による環境汚染 >上<	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 193(1998.2)
17	カエルの奇形と微量化学物質による環境汚染 >下<	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 296(1998.2)
18	"エストロゲン性" 確認へ スチレン工業会 TNOに動物実験依頼	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 77(1998.3)
19	生殖障害物質が溶出 ごみ減量へ期待のプラスチック容器 (環境庁)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 123(1998.3)
20	多摩川のコイに精巣異常が多発	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 176(1998.4)
21	巻き貝 生殖器の異常急減 有機スズの規制が奏功	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 248(1998.4)
22	焼却場近くの牧場の牛乳 ダイオキシン高濃度 (帯広畜産大調査)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 270(1998.4)
23	環境ホルモン 魚類に影響 水産学会で報告相次ぐ	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 271(1998.4)
24	環境ホルモンが複合作用 魚類の産卵など阻害 九大研究グループが確認	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 335(1998.4)
25	エンドクリン問題 建設省は河川調査 生態調査など	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 456(1998.4)
26	ダイオキシン 母乳から高濃度検出 厚生省が4都道府県調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 508(1998.4)
27	環境ホルモン ヘその緒・精子を調査 (環境庁)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 159(1998.5)
28	ダイオキシンTDI 環境庁も中環審に 月内、見直し諮問	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 65(1998.7)
29	日本人の精子運動機能 全世代で低下 環境ホルモンシンポ 報告	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 106(1998.7)

30	血液中ダイオキシン濃度測定 統一基準を策定へ 厚生	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 124(1998.7)
31	環境ホルモン 動物園などに協力要請 環境庁、野生生物の実態調査で	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 190(1998.7)
32	ダイオキシン 健康への影響調査 環境庁 埼玉・所沢と大阪・能勢	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 142(1998.8)
33	環境庁 野生生物11種を調査 ダイオキシン汚染 今秋から来春めど	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 206(1998.8)
34	魚や植物で環境汚染監視 通産省	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 114(1998.9)
35	食品バンクで20年保存 環境ホルモンなど健康影響調査 厚生省、来年度から	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 29(1998.10)
36	環境ホルモン 米欧と共同研究 聖マリアンナ医大など精子減少を検証へ	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 158(1998.10)
37	ビスフェノールA 健康への影響ない 日米欧業界団体が共同検証 現行基準で安全	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 269(1998.10)
38	ズームイン 「精子減少」原因は環境ホルモン? 動物で疑い濃厚に 日米欧の共同研究始動	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 271(1998.10)
39	へその緒からダイオキシン 環境庁、厚生省調べ 胎児、化学物質汚染進む ビスフェノールAなども	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 354(1998.10)
40	内分泌かく乱物質 出生児対象に調査 環境庁検討会リスク評価計画公表	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 378(1998.10)
41	内分泌かく乱物質 調査物質を追加 建設省環境庁水域対象、低質・魚類も	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 164(1998.11)
42	胎児から環境ホルモンへその緒で検出 東京農大など	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 210(1998.12)
43	ダイオキシン 子宮内膜症に影響か	GREEN REPORT, 111(1997.2)
44	ダイオキシンに発がん性がある 国際機関 評価見直し	GREEN REPORT, 110(1997.3)
45	ダイオキシン汚染 母乳の濃度を調査 埼玉	GREEN REPORT, 11(1997.5)
46	ダイオキシンの母乳摂取 甲状腺ホルモン減少 九大チーム 乳児を調査	GREEN REPORT, 110(1997.6)
47	ダイオキシン人体影響調査 血液・母乳・髪、サンプルに厚生省 来年度から本格化	GREEN REPORT, 22(1997.7)
48	動物の性を混乱させる化学物質 女性ホルモン作用が原因	GREEN REPORT, 105(1997.7)
49	ダイオキシン汚染防止策 知事が国へ要望 関東知事会議	GREEN REPORT, 29(1997.11)
50	環境汚染心配? 精子の数を調査 全国で厚生省	GREEN REPORT, 111(1998.1)
51	ダイオキシン汚染 魚類からの検出、大幅増 環境庁の調査	GREEN REPORT, 5(1998.2)
52	自家焼却の自治体で高い「新生児死亡率」 ダイオキシン市民団体調査(埼玉県)	GREEN REPORT, 75(1998.3)
53	多摩川のコイ 精巣異常 環境ホルモンの影響か 府中市内で学者グループが調査	GREEN REPORT, 88(1998.3)
54	オスのカレイ類から 卵黄タンパク検出 環境ホルモンの影響?(東京水産大)	GREEN REPORT, 96(1998.3)
55	ダイオキシン母乳調査 三芳町、県平均下回る(埼玉県)	GREEN REPORT, 108(1998.4)
56	ダイオキシン母乳調査 一日摂取量は基準の7倍(埼玉県)	GREEN REPORT, 112(1998.4)
57	若者の精子 運動能力低下 帝京大教授ら京で発表 環境ホルモンが影響?	GREEN REPORT, 112(1998.4)
58	環境ホルモン カレイにも生殖異常 東京水産大グループ発表	GREEN REPORT, 7(1998.5)
59	母乳中のダイオキシン 厚生省が中間結果発表 所沢で安全指針上回る(埼玉県)	GREEN REPORT, 112(1998.5)
60	ダイオキシン 母乳濃度 許容量の7倍 厚生省調査	GREEN REPORT, 113(1998.5)
61	牛乳のダイオキシン 焼却場近くは高濃度 帯広畜産大教授調査	GREEN REPORT, 114(1998.5)
62	牛乳のダイオキシン 「抜本的対策、急いで」 業界・市民に戸惑いの声	GREEN REPORT, 114(1998.5)
63	よみがえれ環境 第8部 地球が乱れる 5 母乳の危機	GREEN REPORT, 138(1998.5)
64	環境ホルモン 人体への影響 厚生省も調査	GREEN REPORT, 4(1998.6)
65	環境ホルモン検討会 若者の精子濃度低い	GREEN REPORT, 6(1998.6)
66	ダイオキシン 野鳥の体汚染 愛媛大、韓国で調査	GREEN REPORT, 84(1998.6)
67	クマタカから環境ホルモン 岐阜大、汚染実態調査へ	GREEN REPORT, 90(1998.6)
68	「環境ホルモン」取り組み 県庁内に連絡会議(愛知県)	GREEN REPORT, 37(1998.7)
69	環境ホルモンの影響測定 魚類対象 抗体反応で簡単に	GREEN REPORT, 46(1998.7)

	クマモト抗体研究所が開発	
70	検査の協力者募集 男性対象 環境ホルモン影響で 聖マリアンナ医大教授(神奈川県)	GREEN REPORT, 100(1998.7)
71	夢中人 ■ヒキガエルで化学物質チェック	GREEN REPORT, 100(1998.8)
72	ダイオキシン免疫毒性 測定方法を開発 東北大 ヒトのT細胞で判定	GREEN REPORT, 101(1998.8)
73	けやき並木 母乳とダイオキシン	GREEN REPORT, 129(1998.8)
74	ひと ごみ焼却場周辺の住民の血液から高濃度のダイオキシンを検出した 宮田秀明さん	GREEN REPORT, 139(1998.8)
75	深海の魚の環境ホルモン汚染を解明した愛媛大学教授 田辺信介さん	GREEN REPORT, 139(1998.8)
76	ダイオキシン 所沢で人体影響調査 大阪・能勢町と2地域で実施 環境庁、年内にも	GREEN REPORT, 26(1998.9)
77	血液から高濃度ダイオキシン 行政への疑心深まる茨城・新利根住民	GREEN REPORT, 73(1998.9)
78	ダイオキシン汚染 鳥・ほ乳類11種を調査 環境庁	GREEN REPORT, 91(1998.9)
79	環境ホルモン 次世代の生存率低下 九州大グループメダカ実験で確認	GREEN REPORT, 98(1998.9)
80	環境ホルモン 肝臓内で解毒 酪農学園大、解明に一步	GREEN REPORT, 100(1998.9)
81	環境ホルモンの有機スズ化合物 タヌキ、猿にも蓄積 首都圏などの動物 愛媛大農学部調査	GREEN REPORT, 111(1998.9)
82	ダイオキシン 精巣への影響は低い 国立環境研 動物実験で判明	GREEN REPORT, 111(1998.9)
83	ダイオキシン 胎・乳児期の影響調査急務 九大医療短大部助教授が講演 母乳汚染に個人差	GREEN REPORT, 117(1998.9)
84	母乳中のダイオキシン濃度 厚生省と県が調査へ 来年度 乳児の発育状況も	GREEN REPORT, 19(1998.10)
85	清掃工場焼却炉 談合疑惑問題 所沢市が契約議案の提案見送り ダイオキシン対策に影響(埼玉県)	GREEN REPORT, 30(1998.10)
86	坂取清掃工場周辺のダイオキシン対策 茨城県が健康調査へ	GREEN REPORT, 35(1998.10)
87	禁止措置は不要 食器やおもちゃに使用 厚生省検討会が中間報告案	GREEN REPORT, 30(1998.11)
88	へその緒からは微量 ダイオキシンの母子移行 厚生省調査	GREEN REPORT, 111(1998.11)
89	「健康影響否定できぬ」 厚生省検討会 環境ホルモンで中間報告	GREEN REPORT, 21(1998.12)
90	環境ホルモン、健康への影響は? 京都で開催の国際シンポで議論	GREEN REPORT, 4-5(1999.1)
91	焼却灰の川下に奇形魚 ダイオキシン検出 岡山市粟井地区 住民団体「原因究明を」	GREEN REPORT, 91(1999.1)
92	オオワシとオジロワシ 環境ホルモンに汚染 ロシアと共同研究へ 北大調査	GREEN REPORT, 95(1999.1)
93	ダイオキシン摂取量 基準値当分4ピコグラム 厚生・環境合同会議	GREEN REPORT, 23(1999.2)
94	環境ホルモン 女性に影響大 米の研究所が報告	GREEN REPORT, 111(1999.2)
95	有機スズ規制後も多発 巻き貝の生殖器異常 環境研が調査	GREEN REPORT, 109(1999.5)
96	微量のスチレン検出 食品用の合成樹脂容器から 県の調査【神奈川県】	GREEN REPORT, 109(1999.6)
97	ダイオキシン 母乳など独自調査 京都市が排出抑制計画	GREEN REPORT, 24(1999.8)
98	海の有機スズ汚染深刻 規制後も貝に生殖異常 国立環境研 全国調査	GREEN REPORT, 113(1999.9)

表9-3(7) 文献リスト(マスメディアによる情報)

[物質の毒性] ③ 毒性発現期間

No.	記事名	文献
1	アジア各国 有機スズ汚染深刻 愛媛大など国際研究員の濃度比較で判明	GREEN REPORT, 110(1999.8)

表9-3 (8) 文献リスト (マスメディアによる情報)

[物質の毒性] ④ リスクの及ぶ範囲

No.	記 事 名	文 献
1	[行政資料]ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドラインについて	都市清掃 vol.50 No.216, 83(1997)
2	特集/ごみ処理に係るダイオキシン類の削減対策 都市ごみ焼却に伴って発生するダイオキシンとその対策	都市清掃 vol.50 No.218, 230(1997)
3	[論説]廃棄物処理と地球環境問題-ダイオキシン・地球温暖化をめぐって-	都市清掃 vol.51 No.224, 290(1998)
4	資料 ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン-厚生省-	月刊廃棄物, 128(1997.3)
5	ダイオキシン汚染 農耕地で最高値 環境化学討論会で発表	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 245(1997.6)
6	ダイオキシン 大都会部で汚染深刻 環境庁測定、堺市が最悪	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 364(1997.6)
7	環境庁 化学物質対策を強化 複合リスク全国調査 微量物質 エンドクリン	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 157(1997.9)
8	内分泌攪乱物質規制へ 独環境庁が報告書	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 346(1997.10)
9	東京湾海水のダイオキシン 総量 0.096-0.56g 新採水器使い調査 (資環研)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 321(1997.11)
10	ダイオキシン 人と野生生物の汚染で 環境庁が調査検討会	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 421(1997.12)
11	防げ!!化学物質汚染 環境庁調査結果から ▲下▼	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 198(1998.1)
12	ダイオキシン汚染拡大 環境庁全国調査で明らかに	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 259(1998.1)
13	ダイオキシン 全国で汚染実態調査 環境庁長官表明	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 482(1998.4)
14	環境リスク論-ダイオキシンリスク評価を例として-	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 122(1998.7)
15	影響評価も研究進む 阪大など	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 115(1998.9)
16	ダイオキシン汚染 全国の農地調査へ 農水、3年で150地点対象	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 16(1998.10)
17	河川のダイオキシン汚染 除草剤残留も原因 愛媛大が調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 284(1998.10)
18	河川ダイオキシン汚染 水田の除草剤が原因 愛媛大教授ら調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 238(1998.10)
19	人畜由来種が多数検出 河川など内分泌かく乱物質調査 建設省 下水処理場は一定機能発揮	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 348(1998.10)
20	極微量分析技術が"基準" 変える 環境ホルモン、化学物質検出技術と行政の最前線	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 150(1998.11)
21	「難燃技術セミナー98」より 臭素系難燃剤とダイオキシン問題 独で規制基準クリア	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 174(1998.11)
22	ダイオキシンの汚染実態を学ぶ 田富・産廃対策協(山梨県)	GREEN REPORT, 60(1997.4)
23	ダイオキシン類濃度 大気中は基準値内 東京都が調査	GREEN REPORT, 12(1997.5)
24	鳴門工場ダイオキシン検出 影響調査始まる 市、周辺で初(名古屋市)	GREEN REPORT, 68(1997.8)
25	広がるダイオキシン汚染 環境庁全国調査	GREEN REPORT, 68(1997.8)
26	ダイオキシン大気中濃度を初調査 愛知県が補正計上へ	GREEN REPORT, 10(1997.9)
27	ダイオキシン 河川から検出(東京都)	GREEN REPORT, 109(1997.9)
28	環境ホルモン 汚染、国が初確認	GREEN REPORT, 4(1998.2)
29	宮城・北上川 ウグイから高濃度 ダイオキシン全国調査	GREEN REPORT, 7(1998.2)
30	民間焼却炉の実態調査 名古屋市長会委	GREEN REPORT, 78(1998.4)
31	土岐の産廃野焼き現場 ダイオキシン調査(岐阜県)	GREEN REPORT, 78(1998.4)
32	ダイオキシン汚染 水田が際立って高濃度 愛媛大教授ら 松山平野調査	GREEN REPORT, 110(1998.4)
33	琵琶湖からダイオキシン 全調査地点で検出(滋賀県)	GREEN REPORT, 111(1998.4)
34	環境ホルモン実態調査 都が検討機関設置へ	GREEN REPORT, 5(1998.5)
35	環境指針値大幅に上回る ダイオキシン調査 市原市(千葉県)	GREEN REPORT, 113(1998.5)
36	3ヵ所とも指針以下 大気中のダイオキシン 県が調査(群馬県)	GREEN REPORT, 113(1998.5)
37	ダイオキシン指針値越える 都内3ヵ所大気中	GREEN REPORT, 113(1998.5)

38	ダイオキシシン 漏出水から検出 県が豊島周辺で調査(香川県)	GREEN REPORT, 115(1998.5)
39	西脇、高砂 指針値超す ダイオキシシン 土壌は西宮が最高(兵庫県)	GREEN REPORT, 115(1998.5)
40	新座市 大気、土壌とも低数値 ダイオキシシン調査結果発表(埼玉県)	GREEN REPORT, 115(1998.5)
41	よみがえれ環境 第8部 地球が乱れる 1 環境ホルモン	GREEN REPORT, 134(1998.5)
42	よみがえれ環境 第8部 地球が乱れる 3 疑惑の容器	GREEN REPORT, 136(1998.5)
43	よみがえれ環境 第8部 地球が乱れる 7 ダイオキシシン	GREEN REPORT, 140(1998.5)
44	ダイオキシシンに厳しい目 全都道府県が大気調査 共同通信社まとめ	GREEN REPORT, 110(1998.6)
45	仙台市 ダイオキシシン濃度調査 3ヵ所で大気採取	GREEN REPORT, 111(1998.6)
46	日の出のごみ処分場問題 焼却灰で健康被害訴え	GREEN REPORT, 11(1998.7)
47	琵琶湖底のダイオキシシン 70年代から高濃度続く 農業由来減もごみ焼却増加 京大など研究	GREEN REPORT, 109(1998.7)
48	環境ホルモンの影響調査 県内は富士川など8河川 建設省、環境庁	GREEN REPORT, 19(1998.8)
49	環境ホルモン 下水道の実態調査 建設省 10日に検討委発足	GREEN REPORT, 21(1998.8)
50	環境ホルモン問題 県、庁内に連絡会議 情報共有、実態調査も	GREEN REPORT, 24(1998.8)
51	大気環境指針下回る ダイオキシシン類 12ヵ所で濃度調査 環境庁	GREEN REPORT, 110(1998.8)
52	ストップ!ダイオキシシン 突出した異常値なし 宮城県 の調査	GREEN REPORT, 110(1998.8)
53	ダイオキシシン濃度は基準値内 大阪の28施設	GREEN REPORT, 110(1998.8)
54	初の環境ホルモン調査 近畿地建 22日から 琵琶湖、淀川などで	GREEN REPORT, 112(1998.8)
55	ダイオキシシン類汚染調査-環境庁が手引書作成 今秋、野生生物で実施	GREEN REPORT, 25(1998.9)
56	四万十川の水を採取 環境ホルモン全国調査 建設省 9物質対象に	GREEN REPORT, 28(1998.9)
57	公立高校 ダイオキシシン対策に甘さ? 焼却炉の撤去 県内まだ75パーセント 県教委 近く廃止指導(福岡県)	GREEN REPORT, 38(1998.9)
58	猛毒コプラナPCB調査へ 大阪市が対策方針策定	GREEN REPORT, 39(1998.9)
59	ダイオキシシンの大気中濃度測定 越谷、草加、八潮市(埼玉県)	GREEN REPORT, 81(1998.9)
60	遊歩道 母なる海の危機 4 海岸、海底の大量のごみ 心配な環境ホルモン 抜本的除去の制度化急務	GREEN REPORT, 135(1998.9)
61	環境ホルモンを調査 都田、太田川で取水	GREEN REPORT, 36(1998.10)
62	ダイオキシシン類調査 全6調査地点 環境基準内に(神奈川県)	GREEN REPORT, 108(1998.10)
63	PCB 南極周辺も汚染 北半球と熱帯、高濃度 世界の海と大気 水産庁が調査	GREEN REPORT, 108(1999.1)
64	深海も環境ホルモン汚染 日本海 深さ1000メートルがピーク 通産省研究所検出	GREEN REPORT, 106(1999.2)
65	ダイオキシシン対策法成立 環境基準策定 懲役刑含む罰則強化	GREEN REPORT, 18-19(1999.8)
66	環境ホルモンを監視 全国で初の条例で答申【川崎市】	GREEN REPORT, 25(1999.8)
67	煙が立ったら「ダイオキシシン?」 98年度県内公害発生状況 環境苦情 過去最多に【栃木県】	GREEN REPORT, 110-111(1999.10)
68	有害物質規制条約 ダイオキシシンで紛糾 8種全廃では大筋合意	GREEN REPORT, 148(1999.10)
69	資料 ダイオキシシン類緊急対策第一次提言 -ダイオキシシン・環境ホルモン対策国民会議-	月刊廃棄物, 81-85(1999.6)
70	資料 ダイオキシシン対策推進基本指針(案)	月刊廃棄物, 86-89(1999.6)
71	寄稿 ダイオキシシン削減策の視点と問題意識 <前編>	月刊廃棄物, 65-69(1999.10)
72	寄稿 ダイオキシシン削減策の視点と問題意識 <後編>	月刊廃棄物, 65-69(1999.11)
73	ダイオキシシンの耐用一日摂取量(TDI)について	都市と廃棄物 Vol.29 No.8, 53(1999)

表9-3 (9) 文献リスト (マスメディアによる情報)

[物質の拡散] ① 排出源

No.	記事名	文献
1	<寄稿>ダイオキシン発生をどう制御するか	月刊廃棄物, 27(1997.1)
2	■ハードニュース ダイオキシンを発生抑制する焼却炉を開発—エナジープロテクト	月刊廃棄物, 152(1997.2)
3	NEWS ダイオキシンガイドラインを改正—厚生省—	月刊廃棄物, 114(1997.3)
4	特集/ごみ処理におけるダイオキシンをどう発生抑制するか	月刊廃棄物, 85(1997.5)
5	■アンテナ特別編—ダイオキシン排出の実態と削減対策—	月刊廃棄物, 134(1997.7)
6	スペシャルリポート記念セミナー 処理法大型改正&ダイオキシン規制	月刊廃棄物, 47(1997.8)
7	リポート ダイオキシン削減対策(上)	月刊廃棄物, 16(1997.10)
8	話題 ダイオキシン規制 廃棄物処理法施行令 大気汚染防止法施行令改正	月刊廃棄物, 27(1997.10)
9	リポート ダイオキシンセミナー—行政・業界・工学的立場からみた削減対策—	月刊廃棄物, 25(1997.11)
10	リポート ダイオキシン削減対策(中)～法的規制進む～	月刊廃棄物, 32(1997.11)
11	リポート ダイオキシン削減対策(下)～発生抑制対策の基本は分別収集～	月刊廃棄物, 32(1997.12)
12	資料 埼玉エコ・リサイクル連絡会メンバーが県ダイオキシン削減委員会に	月刊廃棄物, 125(1997.12)
13	特集 埼玉県・杉戸町のダイオキシン問題—家庭用簡易焼却炉で自家焼却を斡旋した町の現在—	月刊廃棄物, 16(1998.1)
14	資料 厚生省「廃棄物焼却施設に関するダイオキシン対策について」	月刊廃棄物, 189(1998.1)
15	寄稿 燃焼時におけるダイオキシン類の発生特性について	月刊廃棄物, 47(1998.2)
16	第2部 「'98 廃棄物処理展」にみる技術と傾向 リポート1 小型焼却炉とダイオキシン類の低減技術	月刊廃棄物, 10(1998.8)
17	大気汚染防止法に基づくダイオキシン類の削減対策について	月刊廃棄物, 17(1998.10)
18	資料 平成9年度ダイオキシン類排出実態調査結果について(環境庁)	月刊廃棄物, 46(1998.10)
19	資料 小型焼却炉についてのばいじん及びダイオキシン類排出抑制指導の実施(東京都環境保全局)	月刊廃棄物, 48(1998.10)
20	視点 既設準連続炉のダイオキシン対策工事で0.5ng以下を達成	月刊廃棄物, 52(1998.10)
21	市民からの寄稿 ごみ処理の広域化・大型化はダイオキシン対策か?	月刊廃棄物, 54(1998.10)
22	●ダイオキシン● 行政指針/ごみ処理に係るダイオキシン削減対策検討会中間報告(緊急対策の部)	都市と廃棄物 Vol.27 No.1, 41(1997)
23	●ダイオキシン● 実態調査/清掃工場から排出されるダイオキシンの実態調査結果について	都市と廃棄物 Vol.27 No.1, 54(1997)
24	●ダイオキシン● 新ガイドライン/ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン(前編)	都市と廃棄物 Vol.27 No.3, 21(1997)
25	●ダイオキシン● 新ガイドライン/ごみ処理に係るダイオキシン類発生防止等ガイドライン(後編)	都市と廃棄物 Vol.27 No.4, 34(1997)
26	●地方自治●全国初のダイオキシン規制条例—埼玉県所沢市—	都市と廃棄物 Vol.27 No.5, 133(1997)
27	●指針● 行政指針/ごみ焼却施設とダイオキシン規制<排出状況と今後の対策>	都市と廃棄物 Vol.27 No.7, 37(1997)
28	●法律改正● 規制基準/国のダイオキシン対策についての法制化(環境庁, 厚生省)が明確に	都市と廃棄物 Vol.27 No.9, 32(1997)
29	●特別企画● 技術展望/ダイオキシン削減規制強化とごみ焼却プラントシステムの対応課題	都市と廃棄物 Vol.27 No.12, 21(1997)
30	●ダイオキシン対策● 排出規制/東京都のダイオキシン総合対策の現状と清掃工場の排出状況	都市と廃棄物 Vol.28 No.6, 21(1998)
31	排出実態 産業活動におけるダイオキシン類排出実態調査と今後の対応について	都市と廃棄物 Vol.28 No.9, 33(1998)
32	実態調査 平成9年度 ダイオキシン類排出実態調査結果について—未だ排出実態が不明な施設等を対象に—	都市と廃棄物 Vol.28 No.9, 42(1998)
33	ごみ焼却施設におけるダイオキシン類の対策について	都市と廃棄物 Vol.28 No.9, 44(1998)

34	総合施設 千葉県「ダイオキシン類」対策取組方針—平成10年7月—	都市と廃棄物 Vol.28 No.9, 47(1998)
35	●実態調査●汚染対策/全国既設清掃工場をめぐるダイオキシン削減対策実態調査結果と今後の対応の方向について	都市と廃棄物 Vol.29 No.1, 49(1999)
36	ダイオキシン類排出濃度 欧州並みに抑制 厚生省、発生防止へ指針	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 16(1997.2)
37	厚生省検討会が対策指針 ごみ焼却施設更新が進めば猛毒ダイオキシン 20年で排出ゼロに	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 20(1997.2)
38	ダイオキシン 早急に発生源調査を《第一線研究者が相次ぎ提言》 システム的な抑制狙う	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 282(1997.3)
39	アルミ精練廃液からダイオキシン検出	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 191(1997.5)
40	夏にも大防法指定 ダイオキシン 環境庁、焼却炉も対象	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 269(1997.5)
41	環境庁 ダイオキシンを指定物質に 産廃焼却施設に抑制基準	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 395(1997.5)
42	環境庁 一般工場のダイオキシン規制へ 海洋汚染防止で実態調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 50(1997.6)
43	製鉄電気炉も対象 ダイオキシン排出規制で中審環境答申	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 365(1997.6)
44	ダイオキシン 大防法指定物質に 中環審答申 焼却施設には規準値	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 24(1997.7)
45	ダイオキシン類排出抑制 大防法施行令改正へ (中央環境審議会)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 117(1997.7)
46	ダイオキシン 電炉も規制の方針 報告で必要性指摘 (通産省)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 168(1997.7)
47	ダイオキシン対策 電炉など抑制対象施設に 通産検討会が中間報告	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 170(1997.7)
48	生活審が報告 小型焼却炉などにダイオキシン規制	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 82(1997.8)
49	新体制下の健康事情 ダイオキシン(4) 建廃の焼却存続はリスクあり	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 273(1997.8)
50	ダイオキシン排出法規制 ごみ・産廃焼却場、電炉対象	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 494(1997.8)
51	ダイオキシン 排出抑制技術開発へ 通産省 電炉での発生機構解明	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 75(1997.9)
52	ダイオキシン排水管に高濃度 大阪市ごみ焼却場で検出	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 214(1998.9)
53	ごみ焼却場排水路から 高濃度ダイオキシン 大阪府調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 279(1998.9)
54	9割の最終処分場で高濃度ジオキサン検出 国立環境研など調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 56(1998.10)
55	焼却場ダイオキシン汚染 6施設が能勢町と同型 洗煙排水を循環利用	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 384(1998.10)
56	JETOC 講演会から 独の化学品規制 最新動向 ダイオキシン基準厳しく	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 175(1998.11)
57	管理された廃棄物 施設は問題ない 焼却時ダイオキシン濃度 厚生が調査研究	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 65(1998.12)
58	ダイオキシン—京都市調査 5清掃工場とも新基準値上回る	GREEN REPORT, 86(1997.4)
59	ダイオキシン排出ごみ焼却場 緊急対策必要な72施設名を公表	GREEN REPORT, 4(1997.5)
60	基準値超すダイオキシン排出 52ごみ焼却場を特定 市民団体が独自に調査	GREEN REPORT, 4(1997.5)
61	排出ダイオキシン 72カ所で基準超 九州・山口は22カ所(厚生省)	GREEN REPORT, 8(1997.5)
62	4カ所でダイオキシン 福岡市の焼却施設	GREEN REPORT, 8(1997.5)
63	基準値越えるダイオキシン 秋田・十文字のごみ処理場で検出	GREEN REPORT, 11(1997.5)
64	伊豆長岡町が県に報告 清掃センターの高度ダイオキシン	GREEN REPORT, 11(1997.5)
65	ダイオキシン排出調査 補助金欲しさに「悪い数値」報告 群馬・館林市	GREEN REPORT, 12(1997.5)
66	ごみ焼却場のダイオキシン 札幌は基準値以下	GREEN REPORT, 13(1997.5)
67	ダイオキシン濃度が再測定で基準下回る 中新田・大崎西部環境衛生組合(宮城県)	GREEN REPORT, 74(1997.7)
68	ごみ焼却場のダイオキシン 基準値上回った3施設 再測定法に疑問の声	GREEN REPORT, 75(1997.7)
69	小型焼却施設も調査 ダイオキシン排出量把握 環境庁	GREEN REPORT, 23(1997.8)

	方針 来年度から	
70	ごみ焼却炉に次ぐ汚染源 製鉄所の煙からダイオキシン追放	GREEN REPORT, 63(1997.8)
71	和歌山の産廃焼却処理場 高濃度ダイオキシン	GREEN REPORT, 21(1998.1)
72	高濃度ダイオキシン産廃施設焼却灰から検出(和歌山県)	GREEN REPORT, 79(1998.1)
73	ごみ焼却炉のダイオキシン削減対策自治体に戸惑いと混乱	GREEN REPORT, 80(1998.1)
74	産廃火災でのダイオキシン影響調査 岐阜県などで決定	GREEN REPORT, 7(1998.2)
75	ごみ焼却炉 「ばいじん」規制を2倍に 環境庁	GREEN REPORT, 76(1998.4)
76	イラスト探検隊 ダイオキシン 最大の発生源は焼却炉	GREEN REPORT, 77(1998.4)
77	ダイオキシン類大気中濃度調査 県内3測定地点で削減目標値上回る(千葉県)	GREEN REPORT, 111(1998.4)
78	上尾、指針値上回る ダイオキシン県調査結果(埼玉県)	GREEN REPORT, 111(1998.4)
79	ダイオキシン濃度 市内2ヵ所で指針値越える 大阪	GREEN REPORT, 113(1998.4)
80	ダイオキシン濃度調査結果 環境庁指針したまわる 富士見が想定値公表	GREEN REPORT, 104(1998.5)
81	岡山の川で高濃度検出 環境ホルモン 産廃処分場近く	GREEN REPORT, 108(1998.5)
82	ダイオキシン濃度やや上昇 高浜クリーンセンター(群馬県)	GREEN REPORT, 111(1998.5)
83	廃棄物処分場の浸出水から 高濃度の環境ホルモン 国立環境研調査	GREEN REPORT, 6(1998.6)
84	環境ホルモン 缶詰から検出 内面塗料から検出	GREEN REPORT, 8(1998.6)
85	97年度県内の公営ごみ焼却施設 ダイオキシン濃度半減「緊急対策で一定の効果」	GREEN REPORT, 77(1998.6)
86	ダイオキシン基準値下回る市環境センターを調査(山梨県)	GREEN REPORT, 110(1998.6)
87	ダイオキシン排出半減 那須の産廃中間処理施設 町の指導で改善(栃木県)	GREEN REPORT, 74(1998.7)
88	事業用県内初の灰溶融炉 ダイオキシン排出濃度 設計値0.2ng 東金市外三町ごみ焼却場(千葉県)	GREEN REPORT, 78(1998.7)
89	学校給食の食器を検査 環境ホルモンが検出西宮(兵庫県)	GREEN REPORT, 108(1998.7)
90	カップめん 環境ホルモン容疑物質 容器から微量検出 国立研調査	GREEN REPORT, 109(1998.7)
91	事業所のごみ焼却炉周辺のごみ焼却炉のダイオキシン排出濃度 半年ごと測定を 労働省	GREEN REPORT, 21(1998.8)
92	ダイオキシン 病院の焼却炉から検出 ディーゼル排ガスも 国の規制対策外を調査 環境庁	GREEN REPORT, 74(1998.8)
93	ごみ焼却炉24時間運転 大館広域第1環境センター 高温保ちダイオキシン抑制	GREEN REPORT, 75(1998.8)
94	ごみ焼却熱の融雪システム ダイオキシン排出規制値大幅下回る 旭川の4企業	GREEN REPORT, 97(1998.8)
95	化学物質排出低減へ 環境汚染対応策固める 政府・自民	GREEN REPORT, 24(1998.9)
96	排出実態の報告義務化 環境ホルモン抑制 法制化してデータ公表 通産省方針	GREEN REPORT, 27(1998.9)
97	小中校4割がPC食器 環境ホルモン溶出試験へ 文部省調査	GREEN REPORT, 27(1998.9)
98	土壌のダイオキシン調査 ごみ焼却場周辺5地区 宇多津町が県内初(香川県)	GREEN REPORT, 40(1998.9)
99	大気のごみ焼却炉のダイオキシン 指針値下回る 県内9地点5月調査(兵庫県)	GREEN REPORT, 40(1998.9)
100	大気中のダイオキシン量は 長野市が27日初調査 市内2ヵ所で(長野県)	GREEN REPORT, 40(1998.9)
101	調理紙に環境ホルモン 有機スズを愛媛大検出 呉羽が販売中止	GREEN REPORT, 54(1998.9)
102	環境ホルモン溶出 PC製給食容器 小中の4割使用 207自治体で使用中止 一律規制の措置とらず	GREEN REPORT, 110(1998.9)
103	ダイオキシン類濃度 環境指針値を下回る 川崎市(神奈川県)	GREEN REPORT, 112(1998.9)
104	京都市 ダイオキシン調査対象 新たに土壌や水質も	GREEN REPORT, 34(1998.10)
105	大阪・能勢町 ごみ焼却場 汚染水、塔から霧状排出 循環利用 ダイオキシン濃縮	GREEN REPORT, 78(1998.10)
106	稲わら焼却でも発生 危険な環境ホルモン 徳島大教授発表	GREEN REPORT, 110(1998.11)
107	包装ラップ添加物 食品に溶出の恐れ 「肉料理で可能性	GREEN REPORT, 111(1998.12)

	高い」 日大研究	
108	波田町 基準値超すダイオキシン 小学校隣接焼却炉排煙 町が調査、操業停止(長野県)	GREEN REPORT, 11(1999.4)
109	仙台市 民間産廃施設のダイオキシン調査 2カ所で基準値越える 改善確認まで使用中止	GREEN REPORT, 13(1999.4)
110	鉢田の「産廃施設」周辺 土壌から最高460ピコ ダイオキシン、住民調査(茨城県)	GREEN REPORT, 13(1999.4)
111	焼却灰処分、当面市外で 鎌倉市 新施設、間に合わず「自区内処理」は棚上げ	GREEN REPORT, 75(1999.4)
112	缶詰の殺菌で環境ホルモン 加熱処理で溶出量増加	GREEN REPORT, 113(1999.8)
113	人体から新たに2種 環境ホルモン 繊維染料の原料 厚生省研検出	GREEN REPORT, 101(1999.9)
114	■特集■ ダイオキシン類の削減対策 廃棄物処理に係るダイオキシン対策について	都市清掃 vol.52 No.230, 8-11(1999)
115	■特集■ ダイオキシン類の削減対策 最終処分過程におけるダイオキシン類制御からみた廃棄物処理システムの最適化	都市清掃 vol.52 No.230, 12-17(1999)
116	小型焼却炉/対小型焼却炉ダイオキシン発生抑制を強化! 埼玉県所沢市と東京都新宿区で規制条例制定へ	都市と廃棄物 Vol.29 No.5, 115-124(1999)

表9-3 (10) 文献リスト (マスメディアによる情報)

[物質の拡散] ② 生産量, 使用量

No.	記事名	文献
1	世界の情報 DB化 内分泌攪乱物質 厚生2000年度に運用開始	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 153(1998.11)
2	全国焼却場ダイオキシン類データ 一元管理システム構築 厚生	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 178(1998.11)
3	11月、所沢 ダイオキシン大気調査 7地点すべて指針値越える	GREEN REPORT, 112(1998.3)
4	ダイオキシン 排ガス中、基準値の1/40 三芳町 測定調査結果を発表	GREEN REPORT, 112(1998.3)
5	給食用容器の99%から溶出 環境ホルモン 都が調査	GREEN REPORT, 27(1999.1)
6	安全基準の300分の1以下 PC食器のビスフェノールA溶出 東京都が実態調査	GREEN REPORT, 100(1999.1)
7	缶飲料に「環境ホルモン」 被覆材から溶出 研究者発表へ	GREEN REPORT, 101(1999.1)
8	ラップから環境ホルモン ノニルフェノール溶出 25度で実験 食品分析センター	GREEN REPORT, 111(1999.1)
9	除草剤「CNP」に毒性ダイオキシン 70~80年代製品から検出 横国大教授調査	GREEN REPORT, 113(1999.2)
10	資料 97年度(平成9年度)における廃棄物処理に係るダイオキシン対策に関する調査研究の結果について	月刊廃棄物, 94-103(1999.6)

表9-3 (11) 文献リスト (マスメディアによる情報)

[物質の拡散] ③ 環境への放出量

No.	記事名	文献
1	資料 化学物質と環境について	月刊廃棄物, 143(1998.5)
2	最終処分場のダイオキシン汚染を調査 (環境庁)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 187(1998.3)
3	発がん性物質 6658トン排出 PTRR手法で調査 経団連が96年度分	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 175(1998.7)
4	動き出すPTRR 4 経団連の「環境汚染物質」調査から 環境ホルモン排出 5物質を確認	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 277(1998.7)
5	ダイオキシン年間排出量 アルミ圧延は1.95グラム	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 30(1998.9)
6	微量のダイオキシン 大型DE車の排気ガスに 環境庁調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 38(1998.9)
7	ダイオキシン類年間排出量 17業種合計で185グラム 通産省調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 53(1998.9)
8	ダイオキシン 主体的に排出調査 鉱業協会 回収工場なども対象	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 65(1998.9)

9	ダイオキシン 大気中は焼却起源 環境庁が97年度パイロット調査結果 河川・土壌は製品副生物	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 154(1998.11)
10	高濃度ダイオキシン検出 周辺土壌から 東京・日の出町「谷戸沢処分場」	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 172(1998.12)
11	ダイオキシン 基準の5倍 山口県楠町のごみ焼却施設	GREEN REPORT, 81(1997.4)
12	産廃炉のダイオキシン基準の27倍検出 環境庁が初公表	GREEN REPORT, 5(1997.5)
13	全国最悪 秋田のごみセンター ダイオキシン基準値の25倍 厚生省に報告せず	GREEN REPORT, 13(1997.6)
14	大気中のダイオキシン濃度 都市部の汚染 欧米の約10倍	GREEN REPORT, 112(1997.8)
15	ダイオキシン 県調査上回る 180pg 検出 狭山の「検討委」報告	GREEN REPORT, 113(1997.8)
16	高濃度ダイオキシン 市の焼却施設で検出 埼玉・所沢	GREEN REPORT, 74(1997.10)
17	ダイオキシン排出 全部が基準値以下 市下水道局が下水汚泥焼却炉調査(横浜市)	GREEN REPORT, 33(1998.4)
18	ダイオキシン1/10以下に減少 上田広域クリーンセンター(長野県)	GREEN REPORT, 78(1998.4)
19	土壌汚染の調査が急務 環境中に放出のダイオキシン	GREEN REPORT, 110(1998.4)
20	ごみ処理周辺のダイオキシン 550pg を検出 筑南地方広域事務組合調査(茨城県)	GREEN REPORT, 112(1998.4)
21	環境ホルモン12種排出 ダイオキシンは65g 環境庁	GREEN REPORT, 7(1998.6)
22	水道水から微量のダイオキシン検出 東村山浄水場(東京都)	GREEN REPORT, 112(1998.6)
23	ダイオキシン排出量は3キロ 米環境保護局が調査	GREEN REPORT, 148(1998.9)
24	焼却灰にダイオキシン 最高で5600pg 検出 鹿児島県のごみ焼却場	GREEN REPORT, 107(1998.10)
25	環境ホルモン、66%で検出 建設省が河川256地点調査	GREEN REPORT, 110(1998.11)
26	土壌分析で平均38ピコグラム 緊急研究の成果報告 ダイオキシン環境汚染 科技厅	GREEN REPORT, 111(1999.1)
27	136 ごみ処分場 指導無視 ダイオキシン焼却灰搬入 厚生省、閉鎖など要請	読売新聞, 1999.7.8

表9-3 (12) 文献リスト (マスメディアによる情報)

[物質の拡散] ④ 環境への存在量

No.	記事名	文献
1	寄稿 埼玉県東部地域はなぜダイオキシン類濃度が高いのか?~久喜市の大気中ダイオキシン類濃度調査結果から考える~	月刊廃棄物, 22(1998.7)
2	クローズアップ 家庭用小型焼却炉とダイオキシン問題~埼玉県・杉戸町から県下最高の270pgのダイオキシンが検出される~	月刊廃棄物, 32(1998.8)
3	リポート ダイオキシン対策はい今~焼却・土壌汚染~	月刊廃棄物, 18(1999.2)
4	最高濃度ダイオキシン 周辺土壌から検出 (大阪・能勢のごみ焼却施設)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 439(1997.11)
5	大気中のダイオキシン類調査 4カ所で指針上回る (東京都)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 491(1997.12)
6	ダイオキシン 水田で高い濃度 (愛媛大教授調査)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 112(1998.4)
7	コプラナーPCB 環境庁が汚染調査 ダイオキシン規制を検討	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 20(1998.6)
8	ダイオキシン土壌汚染 7月から全国実態調査 (環境庁)	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 82(1998.6)
9	ダイオキシン 排出規制を強化 政府、乳製品や魚介類調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 249(1998.6)
10	環境ホルモン ビスA、23カ所で検出 建設省が関東河川調査	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 369(1998.7)
11	土壌ダイオキシンに指針環境庁が暫定住宅地・公園など対象	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 177(1998.11)
12	調査地の95%で検出 環境ホルモン 全国の河川・湖で環境庁公表	環境・廃棄物関連ビジネス調査レポート, 73(1998.12)
13	ごみ施設周辺ダイオキシン 基準の790倍、検出(茨城)	GREEN REPORT, 11(1997.3)
14	ごみ焼却場からダイオキシン 基準値超過 3施設 県	GREEN REPORT, 11(1997.3)

	が確認(長野県)	
15	埼玉の廃棄物焼却炉密集地 高濃度ダイオキシン検出 県調査 基準値の5倍	GREEN REPORT, 80(1997.4)
16	浦和 焼却場からダイオキシン	GREEN REPORT, 80(1997.4)
17	ダイオキシン汚染じわり 大気中濃度 21 地点、環境庁が 初公表	GREEN REPORT, 73(1997.7)
18	ダイオキシン濃度 雄武町も基準内に	GREEN REPORT, 72(1997.8)
19	産廃不法投棄の香川・豊島 海底から全国最高値 県のダ イオキシン調査(香川県)	GREEN REPORT, 73(1997.8)
20	環境ホルモンは多数存在か 環境庁が中間報告	GREEN REPORT, 105(1997.8)
21	産廃焼却炉対象にダイオキシン調査(埼玉県)	GREEN REPORT, 35(1997.10)
22	ダイオキシン推定総量100g 東京湾	GREEN REPORT, 108(1997.11)
23	三芳町 ダイオキシン汚染濃度 「くぬぎ山」周辺は 3.0pgの高濃度	GREEN REPORT, 81(1997.12)
24	ダイオキシン琵琶湖の濃度 県の調査は環境庁の 25 分の 1	GREEN REPORT, 8(1998.2)
25	ダイオキシン濃度 最大値の怪 昨年10月 横浜市の調 査で観測(神奈川県)	GREEN REPORT, 9(1998.2)
26	所沢市ダイオキシン類規制策定審 排出濃度、県指針より 厳しく(埼玉県)	GREEN REPORT, 34(1998.2)
27	ダイオキシン 東京湾、高レベルの堆積 横浜国大調査	GREEN REPORT, 110(1998.3)
28	追加調査4カ所 指針値をクリア 入間、ダイオキシン類 (埼玉県)	GREEN REPORT, 111(1998.3)
29	12月調査は“平常” 横浜市環境保全局 ダイオキシン 濃度で	GREEN REPORT, 112(1998.3)
30	ダイオキシン 環境庁基準値の3倍 久喜市が濃度調査	GREEN REPORT, 112(1998.3)
31	河川10地点から環境ホルモン 県衛生研が検出(群馬県)	GREEN REPORT, 113(1998.4)
32	豊平、茨戸、常呂川で 開発局調査で環境ホルモン検出 建設省「まだ評価できない」	GREEN REPORT, 112-113(1998.11)
33	汚染土除去先送り 能勢のダイオキシン問題 保管場所 で難航	GREEN REPORT, 73(1998.12)
34	四万十川 環境ホルモン3物質検出 「四国では平均水 準」 建設省調査	GREEN REPORT, 111(1998.12)
35	PCB 大気から初検出 21 地点すべてから 環境庁調 査	GREEN REPORT, 24(1999.1)
36	ダイオキシン汚染防止 旧ごみ処分場に環境対策(新得 町) 道内初	GREEN REPORT, 10(1999.4)
37	水道水源で環境ホルモン調査へ 全国45ヶ所の取水口で 厚生省	GREEN REPORT, 20-21(1999.7)
38	環境ホルモン 全調査地点で検出 川底から禁止農薬も 【埼玉県】	GREEN REPORT, 114(1999.7)
39	土壌中のダイオキシン 指針値1000ピコグラムに 環 境庁検討会	GREEN REPORT, 19(1999.8)
40	ダイオキシン 水質基準 1ピコグラム 環境庁案 耐 容量から1リットル値逆算	GREEN REPORT, 18(1999.10)
41	大気環境基準 0.6ピコ ダイオキシンで規制強化	GREEN REPORT, 28(1999.11)
42	焼却灰基準は3ナノグラム以下 最終処分場のダイオキ シン 厚生省専門委が報告	GREEN REPORT, 29(1999.11)
43	4物質 影響懸念の濃度 じわり忍び寄る環境ホルモン 初の全国調査 環境庁	GREEN REPORT, 112(1999.11)
44	環境ホルモンは減少傾向 東京湾の海底泥調査 資環研 など	GREEN REPORT, 112-13(1999.11)
45	資料 平成9年度ダイオキシン類の総合パイロット調査 結果について	月刊廃棄物, 90-93(1999.6)

3) 文献のアブストラクト

本調査で得られた学術的な知見の中から、最終処分場に関連するものについて整理した。文献のアブストラクトを表9-4(1)～(11)に示す。

表9-4(1) 文献のアブストラクト

1. タイトル： 異なる形式の廃棄物処分場の浸出水中の微量有機成分の計測とその浸出水処理施設での挙動
2. 著者： 山田 和哉（東京大学工学系研究科都市工学専攻） 他
3. 出典： 水理環境会誌 No.22 Vol.1 1999
4. キーワード： [物質の拡散] ① 排出源
5. アブストラクト： 埋立物の異なる7つの廃棄物処分場の浸出水中に含まれる有機汚染物質の存在状況を明らかにした。 約100種類の微量有機成分が同定された。プラスチック添加剤と考えられるものも多く検出され、これには、内分泌攪乱化学物質と考えられる物質も含まれる。 浸出水処理施設により、これらの物質はかなり除去されているが、安定型処分場では、ビスフェノールAなどが高濃度で検出された処分場がある。 焼却灰埋立地に比べ、プラスチック類を有姿で埋立てる処分場の方が、プラスチックに由来すると考えられる有機汚染物質が、種類、量ともに多い。 オクタノール/水 分配係数の小さい親水性の物質ほど、浸出水を通じて処分場内から消失しやすいことが推定された。

表9-4(2) 文献のアブストラクト

1. タイトル： 焼却残渣主体埋立処分層内のダイオキシン類の挙動に関する一考察
2. 著者： 大迫政浩，金容珍，田中勝
3. 出典： 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集，909-912(1998)
4. キーワード： [物質の特性] ③ 拡散性
5. アブストラクト： 比較的新しい焼却残渣埋立層内のダイオキシン類含有量をボーリングにより調査し、ダイオキシン類の挙動について考察した。その結果、同族体含有量パターンとpHとの間に関連性を認め、pHが高くなるほど溶解しやすい溶存性フミン物質(フミン酸など)のような色素成分に、高塩素化合物が同伴されて溶解してくる可能性を指摘した。

表9-4(3) 文献のアブストラクト

1. タイトル： 廃棄物処分場浸出水中に見いだされる内分泌攪乱化学物質
2. 著者： 浦瀬太郎，山田和哉，松尾友矩
3. 出典： 第9回廃棄物学会研究発表会講演論文集，830(1998)
4. キーワード： [物質の毒性] ① 毒性の種類
5. アブストラクト： 数カ所の管理型・安定型の処分場の浸出水の微量有機成分を分析し、処分場種類，埋め立てられた廃棄物と微量成分の関係、それらの浸出水処理施設での挙動を調べた。 内分泌攪乱化学物質リスト記載67の化合物のうち、フタル酸ジエチルヘキシル、フタル酸ジブチル、ビスフェノールAがほとんどのサンプルから検出された。またベンゾフェノン、シマジンと同定された化合物も各1サンプルであるが検出された。 ビスフェノールAは代表的な内分泌攪乱化学物質であり、廃プラスチックを不燃物として収集しそのまま埋め立てられた処分場よりも、近年は焼却残渣のみを埋め立てている処分場のほうがこのビスフェノールA濃度は小さい。浸出水処理を持つ処分場では活性炭処理などの高度な処理を行えば、ビスフェノールA濃度は大きく減少する。安定型の産業廃棄物処分場からもビスフェノールAは検出される。

表9-4(4) 文献のアブストラクト

1. タイトル： 生態毒性の評価とバイオアッセイ
2. 著者： 青山勲
3. 出典： 廃棄物学会誌 Vol.9 No.5, 358-367(1998)
4. キーワード： [物質の毒性] ① 毒性の種類
5. アブストラクト： 有害化学物質の生態毒性を論じる場合、学問的には生態系の構造と機能にかかわるところなので評価がなされねばならない。実際に環境に放出された化学物質の環境影響評価には対象とする化学物質の化学分析とバイオアッセイとが並行して行われることが必要である。しかし市場に出ているすべての化学物質を化学分析によって検出することは事実上不可能である。そこでまずバイオアッセイによって有害化学物質の存在を認識した上で、物質の測定を行って、そのリスクの大きさを評価するのが望ましい。本稿では化学物質の生態影響評価におけるエンドポイント、バイオアッセイの方法、考え方について述べている。 事例として、産業廃棄物埋立地からの浸出水の生態毒性評価をみると、Microtox 試験，三種の動物プランクトン試験，レタス種子を用いた発芽発根および幼根伸長阻害試験では、生育阻害等の影響が確認されている。一方、増殖阻害試験およびumu 試験では、有意な阻害は確認されていない。

表 9-4 (5) 文献のアブストラクト

1. タイトル： 最終処分場埋立浸出水中のダイオキシンの処理
2. 著者： 川西敏雄，堀井安雄，有元健太郎，田中勝
3. 出典： 都市清掃 Vol. 50 No. 218, 272-275(1997)
4. キーワード： 〔物質の拡散〕 ① 排出源
5. アブストラクト： 膜モジュールを曝気層に直接浸漬させた膜分離型活性汚泥法によりダイオキシン類の除去実験と紫外線・オゾン併用による浸出水中ダイオキシン類の分解実験を行った。活性汚泥が馴致期間中(RUN1)のものと本運転中のもの(RUN2)について行ったが、ダイオキシン類の除去率はRUN1で96.6%、RUN2で99.7%と非常に高い結果が得られ、また処理水のSS濃度は定量下限値以下であったことから、SS成分の膜面阻止によるダイオキシン類の除去効果が認められる。またRUN1とRUN2の除去率の違いから生物処理の関与が示唆され、生物によるダイオキシン類の分解も同時に示唆される。 紫外線はダイオキシン類に光エネルギーを与えることにより脱塩素化を促進し、オゾンは紫外線との反応により酸化力の非常に強いヒドロキラジカル($\cdot\text{OH}$)を生成し、主にこのラジカルが炭素の二重結合を切断する。これらの複合作用により、ダイオキシン類の高い分解率が得られる。

表 9-4 (6) 文献のアブストラクト

1. タイトル： 廃棄物埋立処分場からのダイオキシン類の負荷量調査
2. 著者： 白石寛明，橋本俊二，安田憲二
3. 出典： 第7回環境化学討論会講演要旨集，120-121(1998)
4. キーワード： 〔物質の拡散〕 ④ 環境への存在量
5. アブストラクト： 一般廃棄物処分場および産業廃棄物処分場の2地点の処分場での浸出水，処理水および発生ガス中のダイオキシン類濃度の調査を行った。 発生ガス中のダイオキシン類濃度は、2つの処分場ともこの地域の周辺大気中濃度よりも低いレベルであり埋立地のガス抜き坑から大気中に発生するダイオキシン類濃度は極めて少ない量であった。 浸出水中のダイオキシン類濃度は、また、2つの処分場ともこの地域の周辺都市で採取された雨水中のダイオキシン類濃度よりも数桁低いレベルであった。これはダイオキシン類が水への溶解性が低く、吸着性も高いことから、処分場から環境へ拡散していく割合は低いためだと推測される。 処理水におけるダイオキシン類の除去率は浸出水と処理水のダイオキシン類濃度から計算すると60%程度であった。

表9-4(7) 文献のアブストラクト

1. タイトル： 埋立地浸出水処理におけるダイオキシン類の分解に関する研究
2. 著者： 中川創太，田中俊博，伊藤三郎，葛 甬生
3. 出典： 廃棄物学会誌，Vol.10 No.2，107-109(1999)
4. キーワード： [物質の特性] ①分解性
5. アブストラクト： 最終埋立処分場浸出水中のダイオキシン類を分解することを目的とし、AOP法の一 種である O_3/H_2O_2 処理および $UV/O_3/H_2O_2$ 処理実験を行い、処理特性の比較を行った。総 ダイオキシン類量の処理結果は、原水が 6,500[pg/l] に対して O_3/H_2O_2 処理水が 3,500[pg/l]、 $UV/O_3/H_2O_2$ 処理水が 1,900[pg/l] であり、ダイオキシン類はこれらによ って分解可能であることが明らかとなった。また、両処理法における各ダイオキシン類同 族体の除去量を比較したところ、低塩素化物の分解性能はほぼ同等であったが、高塩素 化物の分解性能は $UV/O_3/H_2O_2$ 処理の方が高いことが認められた。原水の TEQ の内訳は 四～六塩素化物の合計で全体の 91% であり、高塩素化物由来の TEQ は僅かであった ことより、総ダイオキシン類量の処理には高塩素化物の分解性能がより高い $UV/O_3/H_2O_2$ 処理がより適しているが、実際の毒性の高さを示す TEQ の処理においては O_3/H_2O_2 処 理でも可能と推察された。

表9-4(8) 文献のアブストラクト

1. タイトル： 内分泌攪乱物質と廃棄物
2. 著者： 白石寛明，中杉修身，橋本俊次，山本貴士，安原昭夫，安田憲二
3. 出典： 廃棄物学会誌，Vol.10 No.4，293-305(1999)
4. キーワード： [物質の拡散] ①排出源
5. アブストラクト： 廃棄物埋立処分場からの浸出水中に存在する化学物質を特徴づけるため、400 化合物 以上を対象にガスクロマトグラフー質量分析法を中心に用いて測定を行った。外因性内 分泌攪乱物質とされる化合物のうち、PCB，ダイオキシン，DDT などの有機塩素系 農薬のように疎水性の強い化合物の濃度は非常に低く、周辺的环境水レベルであった。 一方、プラスチックに関連すると思われるフタル酸エステル，ビスフェノールAやフェ ノール類などの外因性内分泌攪乱物質とされる化学物質は、高い濃度であった。

表 9-4 (9) 文献のアブストラクト

1. タイトル： 廃棄物最終処分場で検出されるダイオキシン類の濃度レベル
2. 著者： 野馬幸生, 池口 孝
3. 出典： 廃棄物学会誌, Vol. 10 No. 6, 447-465 (1999)
4. キーワード： [物質の拡散] ①排出量
5. アブストラクト： 最終処分場へ埋め立てられた廃棄物中のダイオキシン類が長期間にわたって処分場内へそのまま残存しているか、分解が起きているのか、浸出水として流出しているのか、あるいはその割合はどの程度なのか等について明確な知見が得られていない。今後、廃棄物最終処分場周辺のダイオキシン類の調査が進んでくると思われるが、調査結果を解析する上での参考に供することを目的に処分場におけるダイオキシン類の濃度レベルについて、文献調査した結果を整理した。 文献調査の結果を海外と日本に分けて整理し、また埋立地土壌や浸出水中の濃度を環境試料中の濃度と比較した。埋立物や処分場周辺の土壌や浸出水等のダイオキシン類濃度レベルは広範囲に渡っていたが、それはダイオキシン類の濃度レベルの大きく異なる廃棄物が種々の方法で、しかも様々な土壌・地下水環境中に処分されたためであると考えられた。 海外の文献には、ダイオキシン類による重大な土壌・地下水汚染事故の調査や修復方法、発生源と投棄場周辺環境調査を記載したものが多いが、日本の文献では、一般廃棄物焼却残渣の埋立地周辺調査が多く、埋立地でダイオキシンが移動するか、埋立地周辺の汚染がないかの確認のための調査に主眼が置かれていた。

表 9-4 (10) 文献のアブストラクト

1. タイトル： 埋立処分場浸出水中の内分泌攪乱化学物質と水処理工程における挙動
2. 著者： 村松勇一, 野馬幸生, 西川淳一, 西原 力
3. 出典： 第 10 回廃棄物学会研究発表会講演論文集, 931-933 (1999)
4. キーワード： [物質の特性] ③拡散性
5. アブストラクト： 近年、外因性内分泌攪乱化学物質 (いわゆる環境ホルモン) 問題が注目され、内分泌攪乱が疑われている化学物質の排水中濃度および水処理工程における挙動について関心が高まっている。特に、これらの物質が可塑剤としてプラスチック類などに含まれていることから、プラスチック類が埋立処分された後に処分場浸出水中に溶出することが懸念されている。また、埋立処分場浸出水中にはプラスチック可塑剤の他、未特定の内分泌攪乱化学物質多種類含まれている可能性がある。筆者らは、内分泌攪乱化学物質として疑いのある代表的な物質の濃度を測定するとともに、酵母 TWO-HYBRID 法でエストロゲン活性を検出することによって、浸出水および処理水中の内分泌攪乱化学物質挙動について調査した。

表9-4(11) 文献のアブストラクト

1. タイトル： 一般廃棄物の焼却灰を埋立処分している最終処分場でのダイオキシン挙動の研究
2. 著者： 野馬幸生，松藤康司，高田光康，友田啓二郎
3. 出典： SARDINIA 99 PROCEEDINGS volume II (LEACHATE, GAS, OPERATION AND HEALTH EFFECTS IN LANDFILLS) (1999)
4. キーワード： [物質の特性] ②水・大気・土壌(底質)分配比
5. アブストラクト： 焼却灰を埋め立てている一般廃棄物の最終処分場において、ダイオキシンが環境中へ与える影響を明らかにするため、その挙動を調査した。最終処分場は環境に影響がないと考えられた。浸出水中のダイオキシン濃度は2.02pg-TEQ/lであり、それらの99%は浸出水処理施設で除去された。最終処分場に存在するダイオキシンの推定量は35.453-54.223g-TEQである。また、処分場に持ち込まれるダイオキシン量は39.637g-TEQで、持ち出されるダイオキシン量は0.00025g-TEQであった。この結果、ほとんどのダイオキシンは、最終処分場内に安全に保持されていることが示された。

4) ダイオキシン類に関する基礎データの抽出・整理

ダイオキシン類の埋立地内の挙動等を解析するための基礎データとして、ダイオキシン類の存在量，濃度の分布を表 9-5 (1)～(2)に、また物理・化学的特性を、表 9-6 (1)～(2)に示す。